



すべての人に愛を

New graduate 2017

福祉の仕事ってホント奥深い。人間のすべて、人生のすべてが詰まっている。
人は楽しいことが大好きだ。人生だって楽しい方がいいに決まってる。
だから福祉の仕事は奥深いけど、決して難しく考えるものでもない。
お互いを理解し、人生を共に思いっきり楽しむ。そこが大切。
時々へこむこともあるけど、そんな時は気楽に、気長に考える。
“人間の可能性と人生の素晴らしさ”を私たちは信じている。



普賢学園が大切にしている「想い」

「まず達成すべきは職員の幸せ」

私たちは職員の幸せや働きがいをまず第一に考えます。なぜならば、**職員自身が幸せで心豊か**でなければ、利用者を幸せに絶対に出来ないと考えているからです。職員が仕事に誇りを持ち、充実した毎日を送ることはサービスの質に直結します。障害者の中にはうまく意思を伝える事が困難な方もいます。そういった方の想いを汲み取るには、ベースとして心の豊かさ・余裕は欠かせません。心は放っておいて豊かになりません。**環境の整備が最も重要です。離職率も3年で3パーセント程度です。**

【取組事例】

- ・働きやすさの徹底追及（日々、ムダ・ムリ・ムラを見つけ、改善を行い業務負担を減らす）
- ・しっかり休憩、残業原則なし（休憩場所で必ず1時間とる。残業が発生しない様仕事を効率化）
- ・定期的な職員面談。（定期的な職員面談。要望に対しては可能な限りスピーディーに対応する）
- ・メンタルカウンセリング（外部に委託し、メンタルカウンセリングの機会を提供）
- ・同一労働、同一賃金（業務内容と賃金を見える化し、不公平感を生まない仕組みづくり）
- ・処遇面（正職員2年目で年収340万～400万）*H27年度実績（処遇改善含む）

「利用者のために職員全員が心を合わせる」

支援は一人では出来ません。また良い支援を行うためにはチームワークは必要不可欠です。上司、部下あるいは事務、栄養、医務、支援課などの違いはあれどそれは役割の違いに過ぎません。一人の利用者のために職員全員が一丸になって持ち場、持ち場で全力を尽くす、お互い支え合う、これも大切にしている想いです。

【取組事例】

- ・職員同士、日々の挨拶を欠かさない。そして互いを褒め合う。
- ・ミスが発生した場合、チーム全体で解決へ。（ミスは誰かの責任でなく、チームの責任）
- ・担当の仕事を尊重しながら、協力も怠らない。

「学び続ける姿勢と環境を大切に」

障害福祉は奥深い仕事で、学べば学ぶほど、面白さややりがいが増します。しかし、働きながら学ぶことは簡単な事ではありません。だからこそ学ぶ意思がある人には全力でサポート行っています。社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、社会福祉主事、ヘルパー、はもちろん、自発的に認定心理士、防災士、知的障害者援助専門員、福祉施設士、医療福祉環境アドバイザーを取る職員もいます。

【取組事例】

- ・内部、外部研修含め54回の研修に延べ160人が参加（職員数28人、一人当たり5.7回/年）H27年度
- ・手厚い資格手当（8,000円～30,000円/月）、資格取得の際シフトを優遇。



「障害者支援施設 普賢学園」

adress: 長崎県南島原市深江町戊2825
tel: 0957-72-2297
fax: 0957-65-1114
人事部採用担当: 本田尚久